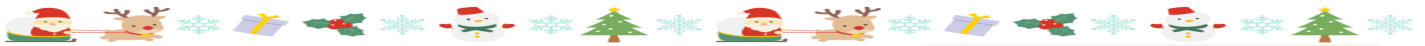


読書ボランティア紹介



おはなしバスケット訪問（伊達市立図書館）

子ども読書推進のために

おはなしバスケット（伊達市）

12月19日（土）訪問

登録人数

13名（H27.12 現在）

創設年月

平成9年

活動場所

伊達市立図書館（年6回）、伊達東小学校（年8回）

活動内容

読み聞かせ、工作、科学遊び



登録者の人数減や個々の多忙化に伴い、以前より制限しながら活動をしています。伊達市立図書館でのおはなし会は毎月行っていた時期もありましたが、現在は偶数月にのみ行っています。おはなし会では読み聞かせだけでなく、工作や科学遊びも合わせて行うのがこの団体の特徴であり、参加者も楽しみにしています。保育士を経験された方がメンバーの中におり、工作に対する様々なアイデアを持っているとのこと。伊達東小学校では、低学年と中学年に対し、年に8回程度（学校行事により変更あり）昼休みの時間を利用して読み聞かせを実施しています。

活動の実際

訪問当日は「たのしいおはなしとえいが会」が行われていました。対象は幼児以上とその保護者で、25組の親子計70名弱が参加していました。プログラムは読み聞かせと短編映画で構成されており、短い時間で交互に行い乳幼児が飽きてしまわないよう配慮されていました。今回はクリスマスにちなんだ本や作品が選ばれていましたが、選書を行うのはおはなしバスケットで、事前に図書館職員と打合せをして決定しています。その後プリント等を職員が準備し館内で告知をしているそうです。広い会場で行われましたが、大型絵本を用いることで後ろの席の方も十分に楽しむことができました。また仕掛け絵本の読み聞かせでは、ただ読むだけでなく子どもたちに語りかけるように読み、場合によってはページを戻すこともありました。児童の反応を見ながら進められるため、どの児童も絵本の世界に引き込まれていました。



おはなしとえいが会の後には場所を変えて紙工作を行いました。ツリーの形をした色画用紙にシールや包装紙の切り抜きを貼り付けるだけでクリスマスツリーができあがるため、幼児にとっても容易であり、また中・高学年の児童にとっては細部にこだわりながら作成することができ、幅広い年齢層に対応した工作でした。完成したツリーをおみやげに、どの参加者も笑顔で帰路についていたのがとても印象的でした。